

独自のグラフィティアートの活用で
和をテーマにした訴求力の高い異空間を実現

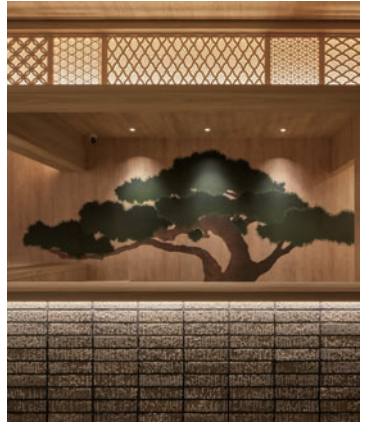
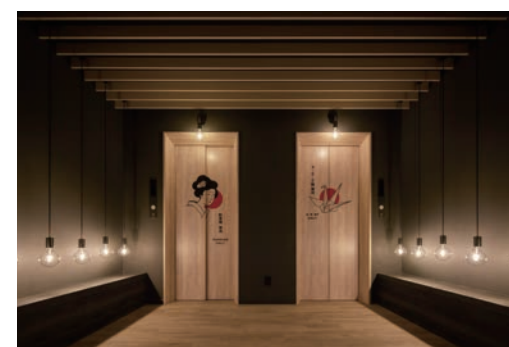
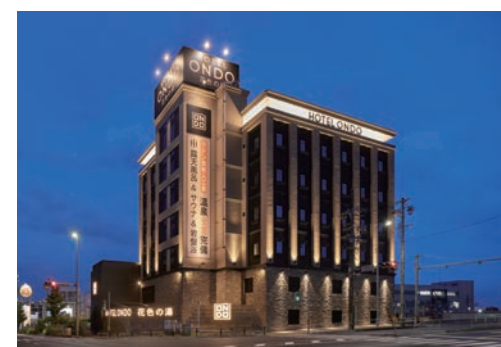
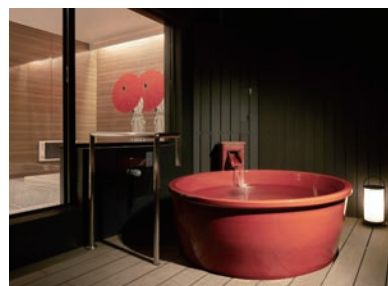
HOTEL ONDO 花色の湯 [名古屋市南区]

◆設計・監理 株式会社orihamiki design office tel.03-6451-4568



◆設計コンセプト

名古屋市内の郊外立地のビル型ホテルのリニューアル。インバウンドも視野に入れた第1期改装は、名称変更に伴い、外観、駐車場からのアプローチ、ロビーなどの共用部をメインとし、客室に関しては、露天風呂を新設した4部屋と、うち浴室のデザインを含めたライトリニューアルを2部屋に集中させた。コンセプトは「Urban Retreat (アーバンリトリート)」。ラドン含有人工温泉・竹炭高温サウナ・天然鉱石岩盤浴・外気浴などスパが充実しており、日頃の都会の喧騒から離脱したひとときを提供できるホテルである。
姉妹店の弥富市の「NUQU」も水と和がコンセプトであることから、名古屋市内の同ホテルのデザインは、和をテーマにしたグラフィティアートの手法で、一線を画したデザインとしている。音楽・POP ARTなどが潤滑剤になって、人種や性別などを超えて、さまざまな交わりが生じ、新たな場所が生まれることを願い、日本人も海外からの来訪者もLGBTQにも受け入れてもらえるダイバーシティのデザインを目指した。



◆施設概要
[ホテル名] HOTEL ONDO 花色の湯
[所在地] 名古屋市南区千竜通1-46-3
[リニューアルオープン] 2023年7月21日
[経営体] M2
[客室数] 29室
[形態] ビル型

◆フロント・バックヤード
[コンピュータシステム] アルメックス

◆エントランス
[スピーカーシステム] 古崎

◆建築・設備工事関連
[建築工事] シンク

